

第2章 意識調査結果

1. スポーツに関する市民意識調査

(1) 調査の概要

◆ 調査の目的

第2期神栖市スポーツ振興基本計画を策定するにあたり、市民の日ごろの運動やスポーツの実施状況、スポーツ施設に対する要望、今後の市のスポーツ施策についての考えなどを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施しました。

◆ 調査対象、方法等

調査地域	市内全域
調査対象者	20歳以上の市内在住の市民
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	令和元年11月25日(月)～令和元年12月10日(火)

◆ 回収状況

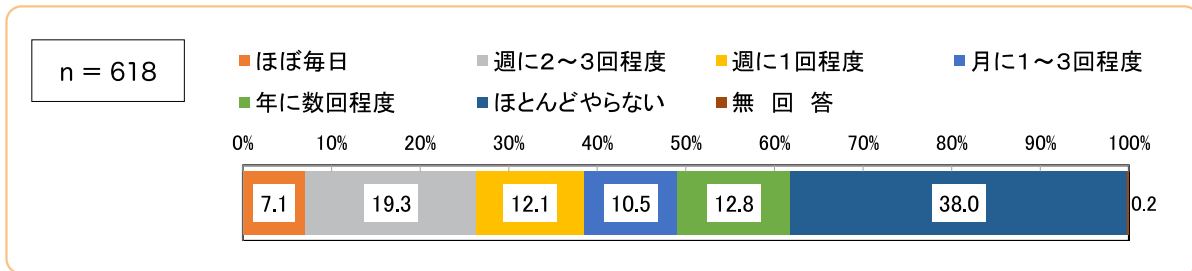
配布数	回収数	回収率
2,000票	618票	30.9%



(2) 主な調査結果

(1) 運動やスポーツをする頻度

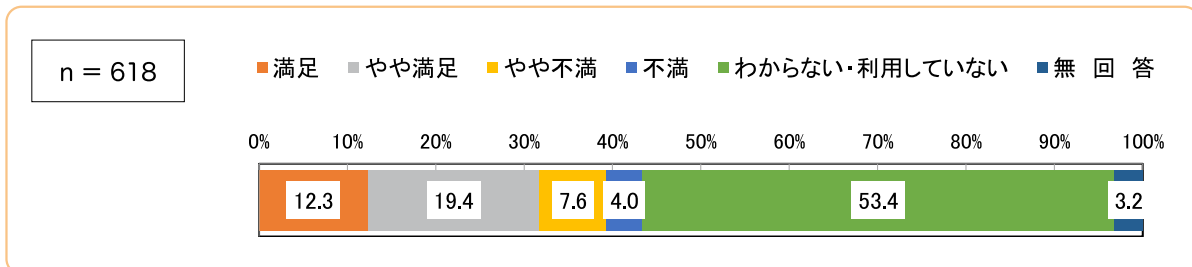
運動やスポーツをする頻度については、「ほとんどやらない」が38.0%と最も多く、次いで「週に2～3回程度」が19.3%、「年に数回程度」が12.8%、「週に1回程度」が12.1%、「月に1～3回程度」が10.5%、「ほぼ毎日」が7.1%の順となっています。



(2) 市スポーツ施設の満足度

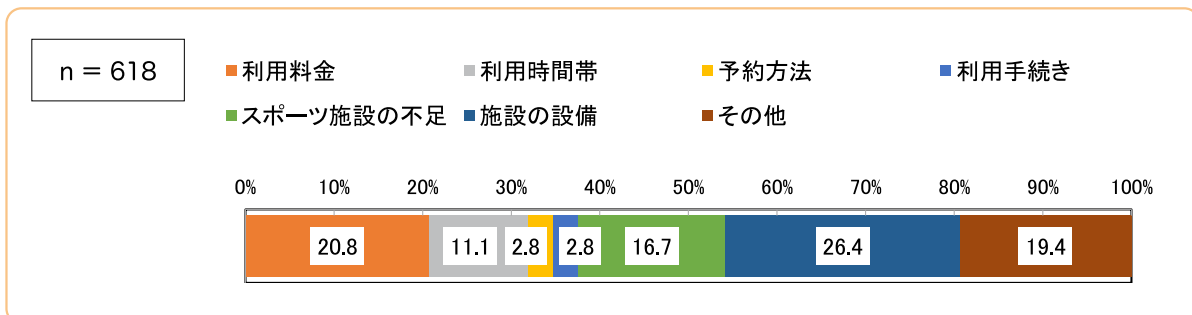
市スポーツ施設への満足度については、『満足』（「やや満足」と「満足」の合計）が31.7%、『不満足』（「やや不満足」と「不満」の合計）が11.6%と『満足』の方が20.1ポイント多くなっています。

なお、「わからない・利用していない」は53.4%となっています。



(3) 不満の理由

不満の理由については、「施設の設備」が26.4%と最も多く、次いで「利用料金」が20.8%、「スポーツ施設の不足」が16.7%、「利用時間帯」が11.1%と続いています。



(4) この1年間に行った運動・スポーツ種目 今後やってみたい運動・スポーツ種目

この1年間に行った運動・スポーツ種目については、「ウォーキング」が42.2%と最も多く、次いで「ストレッチ」が22.3%、「体操(ラジオ体操等)」が15.4%、「ジョギング、ランニング」が15.2%、「ゴルフ各種」が12.6%、「水泳」が7.4%、「バドミントン」、「ウェイトトレーニング」がともに6.6%、「サッカー」が5.3%、「水中ウォーキング・アクアビクス等」が5.2%と続いています。

今後やってみたい運動・スポーツ種目については、「ウォーキング」が20.1%と最も多く、次いで「水中ウォーキング・アクアビクス等」が14.6%、「ストレッチ」が12.6%、「ジョギング、ランニング」が12.3%、「バドミントン」、「サイクリング」がともに11.2%、「水泳」が10.4%、「ゴルフ各種」が9.1%、「テニス」が8.9%、「スキー・スノーボード」が8.4%と続いています。

1年間に行った運動・スポーツ種目

n=618

順位	種 目	%
1	ウォーキング	42.2
2	ストレッチ	22.3
3	体操(ラジオ体操等)	15.4
4	ジョギング、ランニング	15.2
5	ゴルフ各種	12.6
6	水泳	7.4
7	バドミントン ウェイトトレーニング	6.6
9	サッカー	5.3
10	水中ウォーキング・アクアビクス等	5.2
11	サイクリング	4.7
12	卓球(ラージボール卓球) スキー・スノーボード	4.4
14	バレーボール	4.2
15	テニス	4.0
16	バスケットボール	3.9
17	野球	3.7
18	マラソン	2.8
19	eスポーツ	1.1
20	ソフトボール	1.0
21	剣道	0.5
22	スポーツクライミング	0.3
23	ラグビー 柔道	0.2
25	弓道	0.0

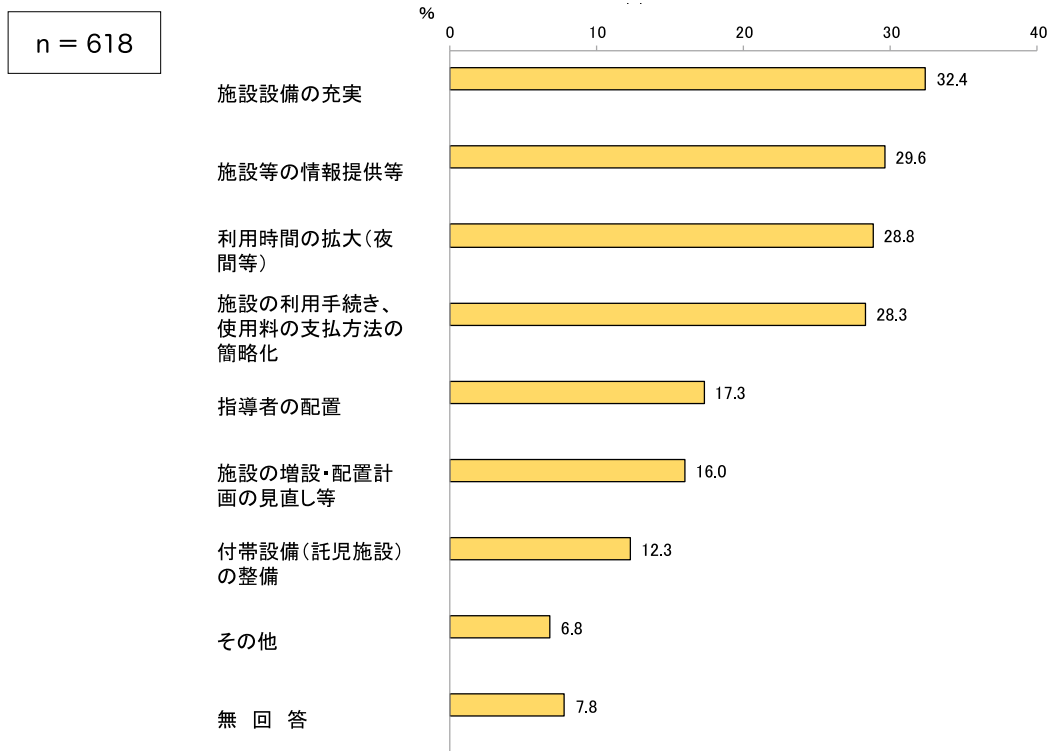
今後やってみたい運動・スポーツ種目

n=618

順位	種 目	%
1	ウォーキング	20.1
2	水中ウォーキング・アクアビクス等	14.6
3	ストレッチ	12.6
4	ジョギング、ランニング	12.3
5	バドミントン サイクリング	11.2
7	水泳	10.4
8	ゴルフ各種	9.1
9	テニス	8.9
10	スキー・スノーボード	8.4
11	ウェイトトレーニング	7.6
12	体操(ラジオ体操等)	6.8
13	スポーツクライミング	6.1
14	卓球(ラージボール卓球)	4.7
15	バレーボール マラソン	4.5
17	eスポーツ	4.4
18	バスケットボール	4.0
19	野球	3.7
20	サッカー	3.6
21	弓道	2.8
22	ラグビー	1.5
23	剣道	1.1
24	柔道	0.6
25	ソフトボール	0.5

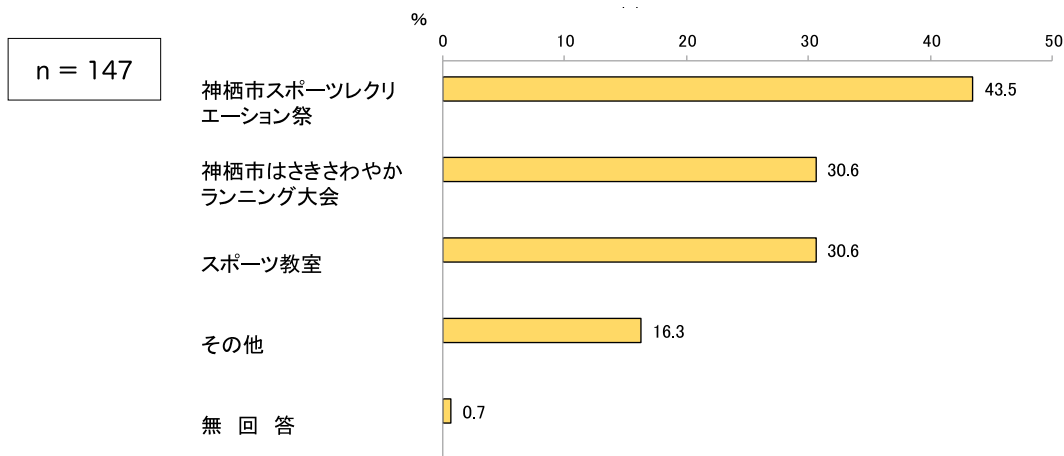
(5) 市スポーツ施設に望むこと

市スポーツ施設に望むことについては、「施設設備の充実」が32.4%と最も多く、次いで「施設等の情報提供等」が29.6%、「利用時間の拡大(夜間等)」が28.8%、「施設の利用手続き、使用料の支払方法の簡略化」が28.3%、「指導者の配置」が17.3%、「施設の増設・配置計画の見直し等」が16.0%、「付帯設備(託児施設)の整備」が12.3%の順となっています。



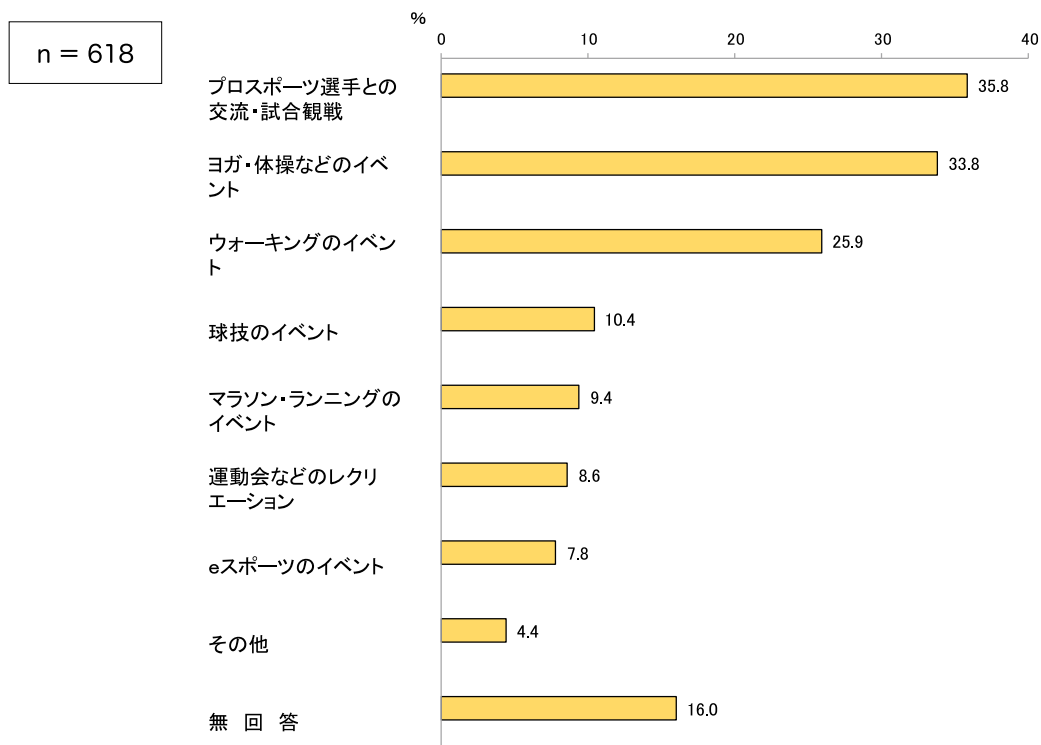
(6) 参加したスポーツイベント等

スポーツイベントに「参加したことがある」と回答した人に、参加したイベントを聞いたところ、「神栖市スポーツレクリエーション祭」が43.5%と最も多く、次いで「神栖市はさきさわやかランニング大会」、「スポーツ教室」がともに30.6%の順となっています。



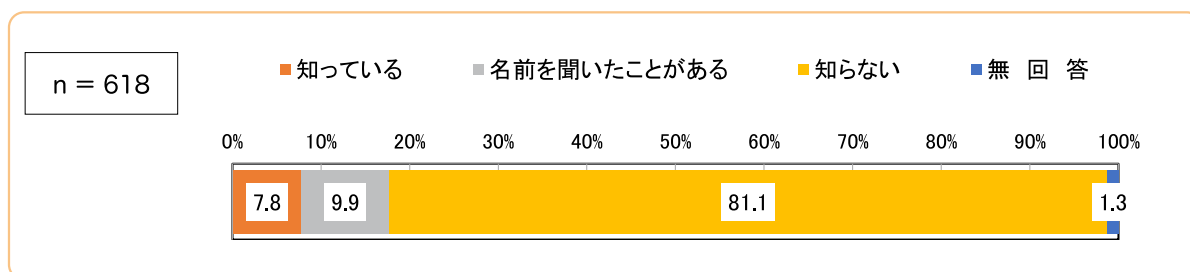
(7) 今後参加してみたいスポーツイベント

今後参加してみたいスポーツイベントについては、「プロスポーツ選手との交流・試合観戦」が35.8%と最も多く、次いで「ヨガ・体操などのイベント」が33.8%、「ウォーキングのイベント」が25.9%、「球技のイベント」が10.4%、「マラソン・ランニングのイベント」が9.4%、「運動会などのレクリエーション」が8.6%、「eスポーツのイベント」が7.8%の順となっています。



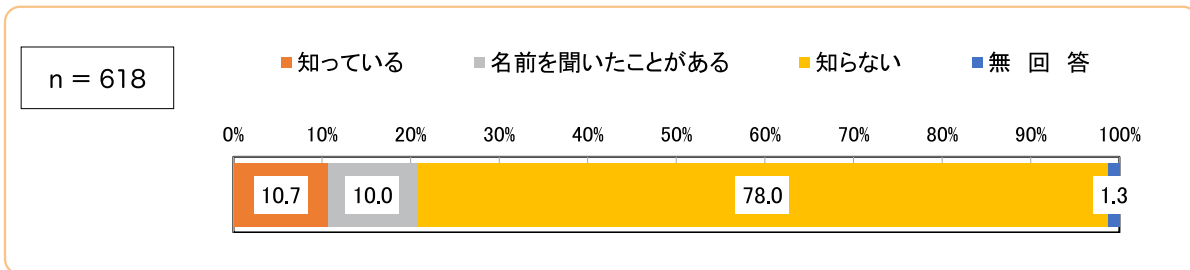
(8) 総合型地域スポーツクラブの認知状況

総合型地域スポーツクラブの認知状況については、「知らない」が81.1%、「名前を聞いたことがある」が9.9%、「知っている」が7.8%の順となっています。



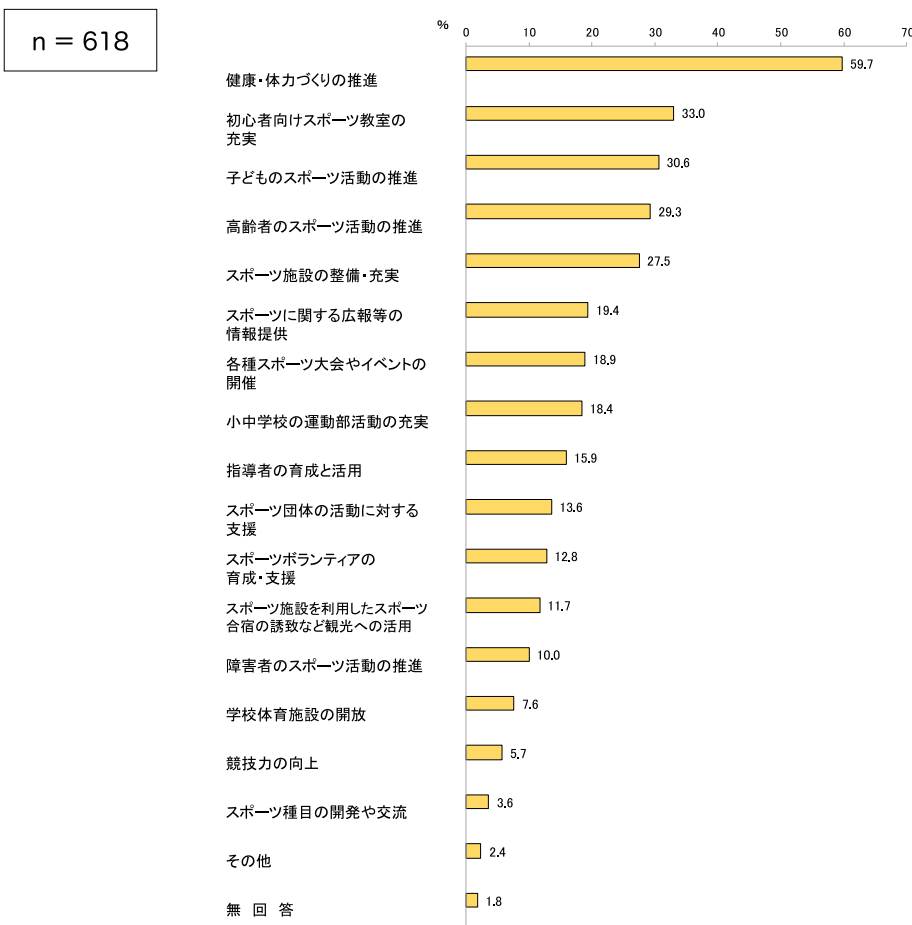
(9) 「かみすスポーツクラブ」の認知状況

「かみすスポーツクラブ」の認知状況については、「知らない」が78.0%、「知っている」が10.7%、「名前を聞いたことがある」が10.0%の順となっています。



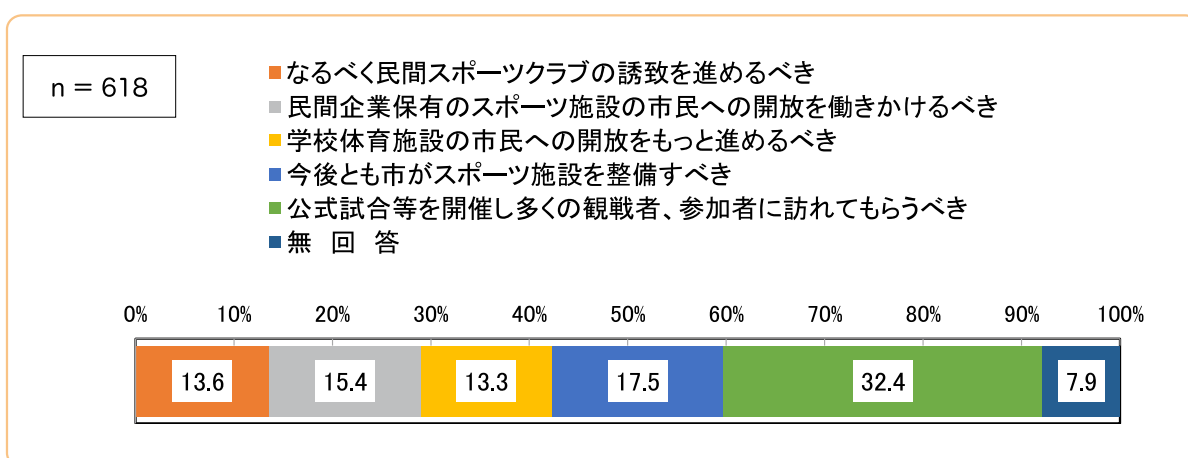
(10) 今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策

今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策については、「健康・体力づくりの推進」が59.7%、次いで「初心者向けスポーツ教室の充実」が33.0%、「子どものスポーツ活動の推進」が30.6%、「高齢者のスポーツ活動の推進」が29.3%、「スポーツ施設の整備・充実」が27.5%、「スポーツに関する広報等の情報提供」が19.4%、「各種スポーツ大会やイベントの開催」が18.9%、「小中学校の運動部活動の充実」が18.4%と続いています。



(11) 今後の市としての取り組み方について

今後の市としての取り組み方については、「プロスポーツの公式試合、各種スポーツ大会や合宿、催し物を開催し、多くの観戦者、参加者に訪れてもらえるような取り組みを進めるべき」が32.4%と最も多く、次いで「スポーツ環境を充実させるのは市の責務なので、今後とも市がスポーツ施設を整備すべき」が17.5%、「市内の民間企業が保有しているスポーツ施設の市民への開放を進めるよう働きかけるべき」が15.4%、「市でスポーツ施設を整備するのは財政負担となるので、なるべく民間スポーツクラブ（フィットネスクラブ等）の誘致を進めるべき」が13.6%、「市内の小・中学校・高校などの学校体育施設の市民への開放をもっと進めるべき」が13.3%の順となっています。



2. スポーツに関する団体等意識調査

(1) 調査の概要

◆ 調査の目的

第2期神栖市スポーツ振興基本計画を策定するにあたり、スポーツ団体等に日ごろの活動状況や市のスポーツ振興に対する意見、要望などを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施しました。

◆ 調査対象、方法等

調査地域	市内全域
調査対象者	市内にあるスポーツ団体等
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	令和元年12月10日(火)～令和元年12月23日(月)

◆ 回収状況

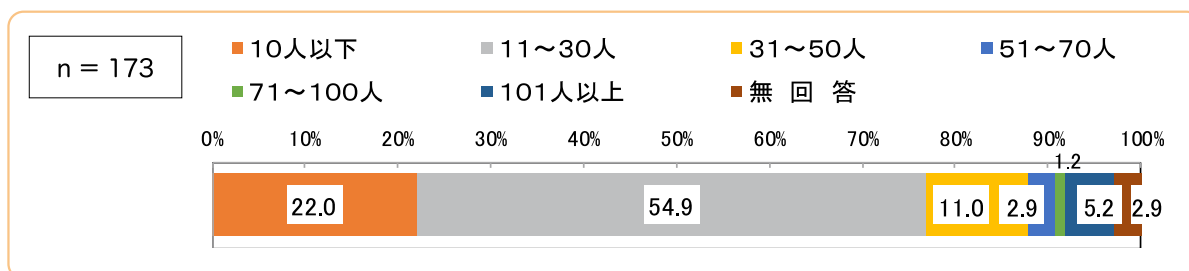
配布数	回収数	回収率
300票	173票	57.7%



(2) 主な調査結果

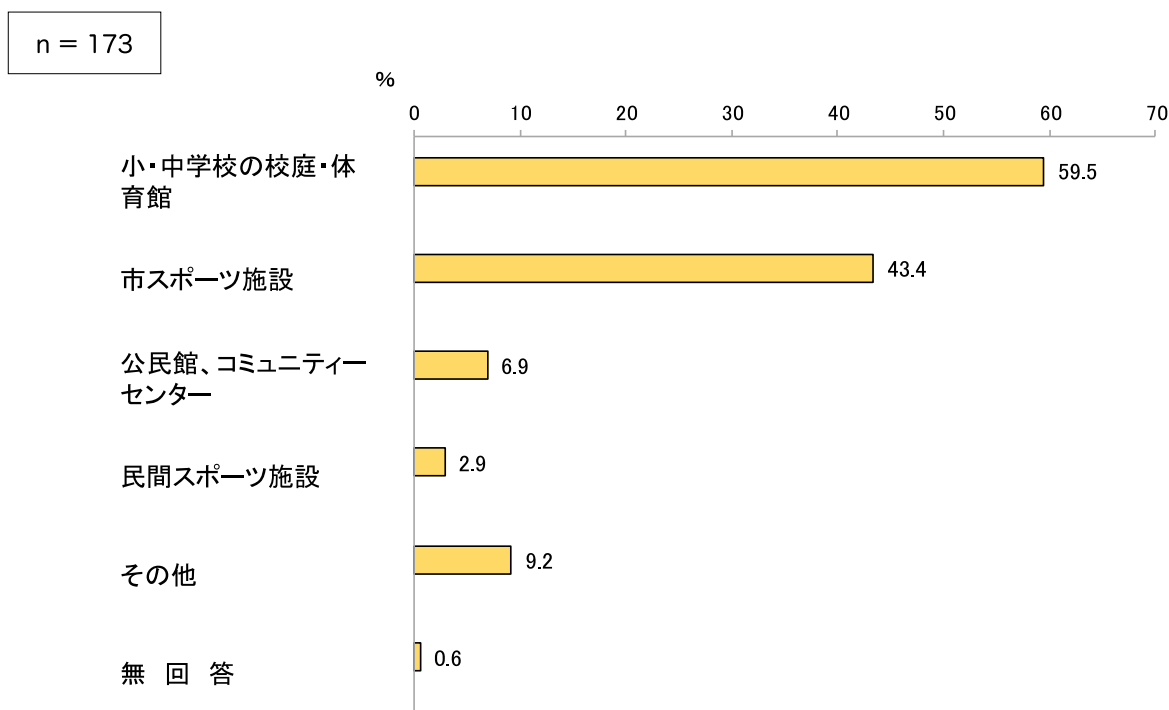
(1) 会員数

会員の人数については「11～30人」が54.9%と最も多く、次いで「10人以下」が22.0%、「31～50人」が11.0%、「101人以上」が5.2%、「51～70人」が2.9%、「71～100人」が1.2%の順となっています。



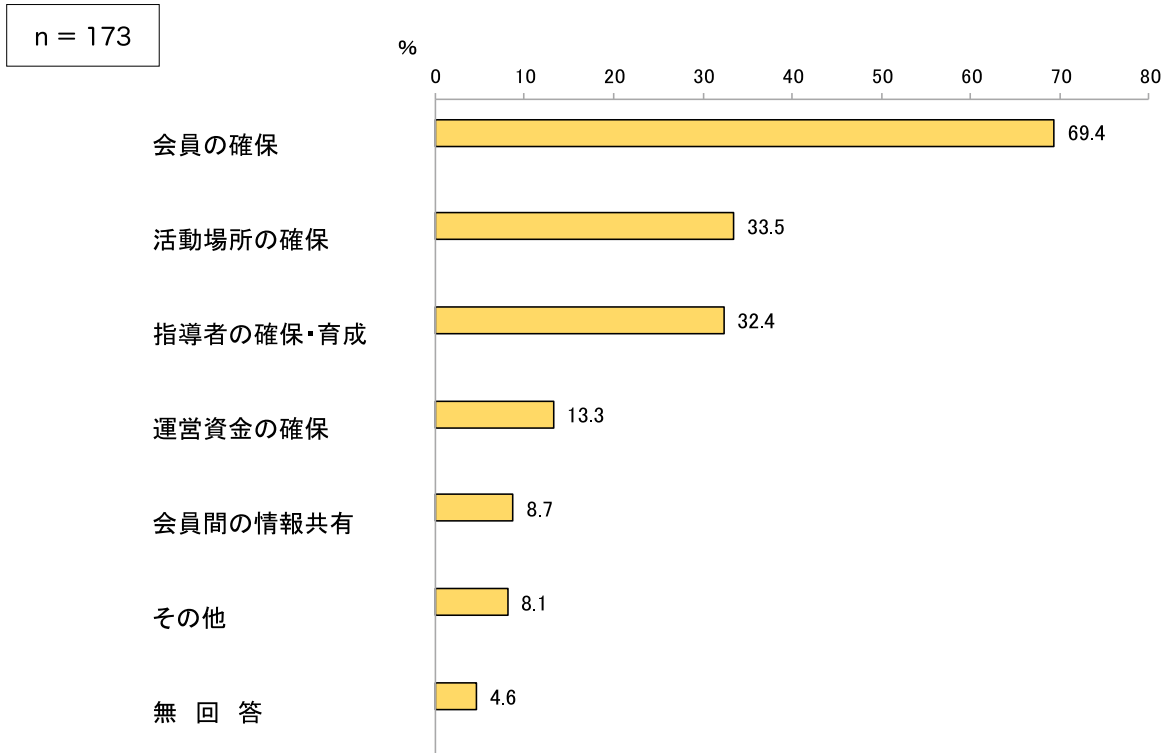
(2) 主な活動場所

主な活動場所については、「小・中学校の校庭・体育館」が59.5%と最も多く、次いで「市スポーツ施設」が43.4%、「公民館、コミュニティーセンター」が6.9%、「民間スポーツ施設」が2.9%の順となっています。



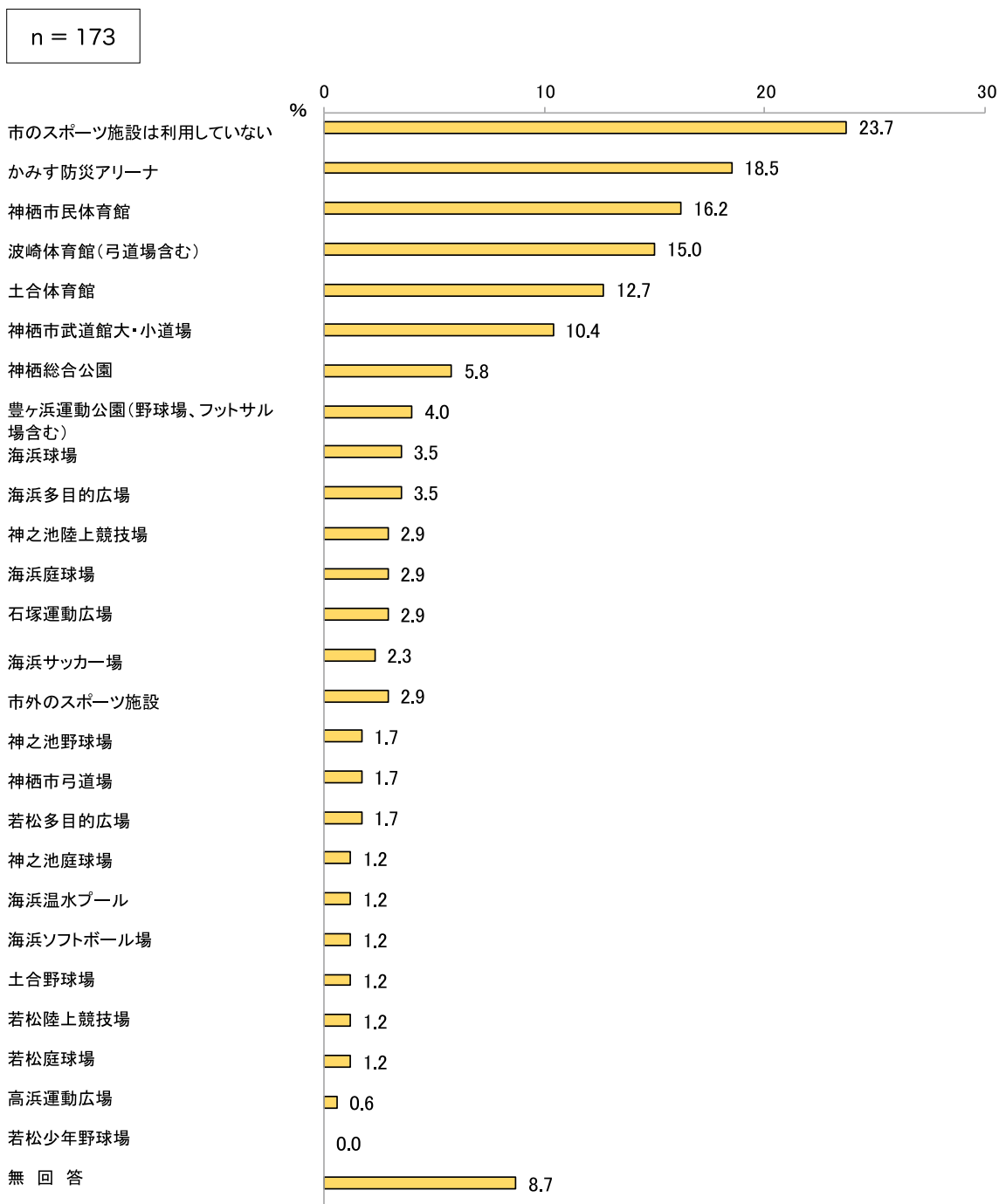
(3) 運営上の課題

運営上の課題については、「会員の確保」が69.4%と最も多く、次いで「活動場所の確保」が33.5%、「指導者の確保・育成」が32.4%、「運営資金の確保」が13.3%、「会員間の情報共有」が8.7%の順となっています。



(4) 利用している市のスポーツ施設

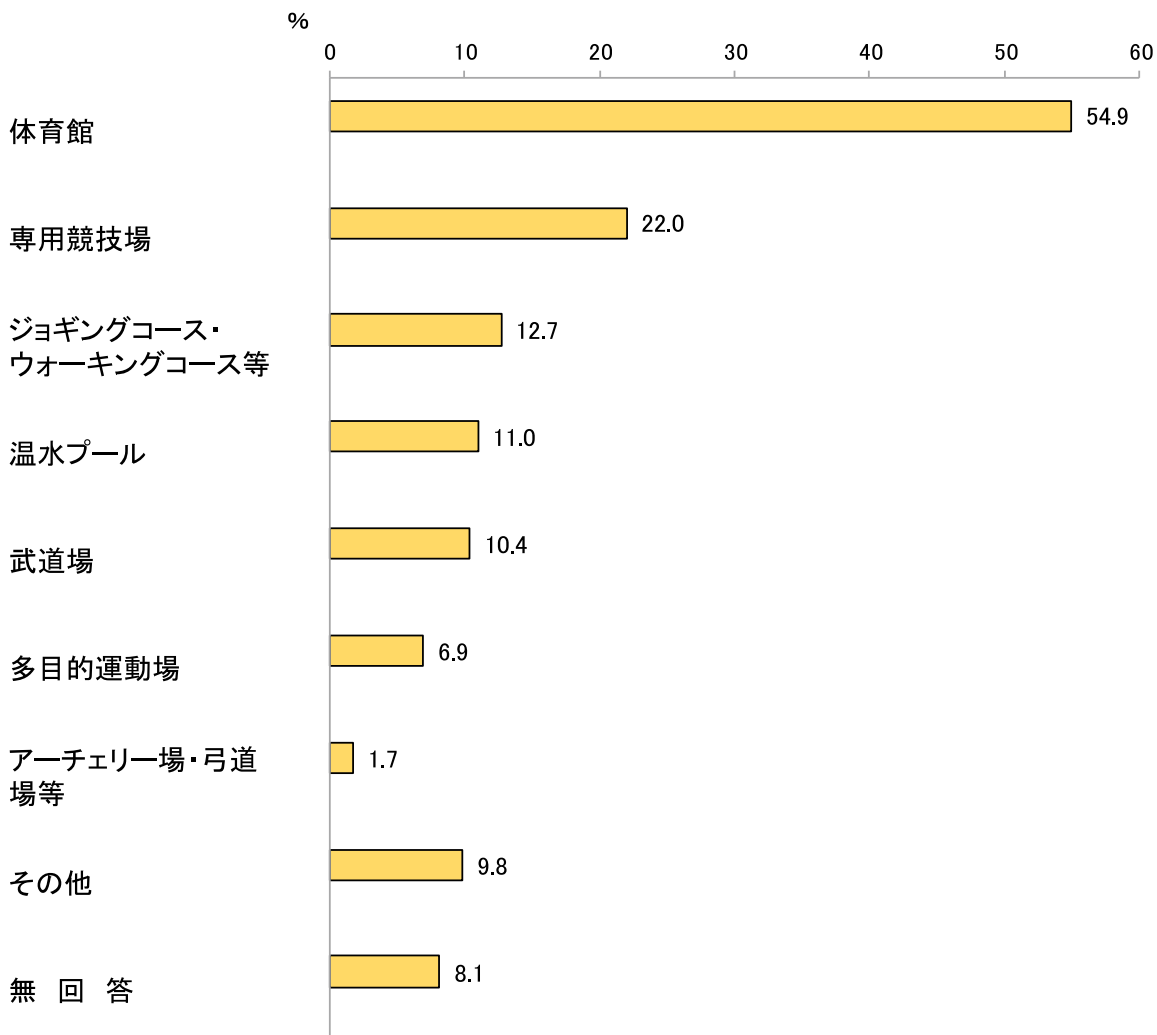
団体・教室活動としてよく利用している市のスポーツ施設については、「かみす防災アリーナ」が18.5%と最も多く、次いで「神栖市民体育館」が16.2%、「波崎体育館(弓道場含む)」が15.0%、「土合体育館」が12.7%、「神栖市武道館大・小道場」が10.4%と続いています。なお、「市のスポーツ施設は利用していない」は23.7%となっています。



(5) 今後整備・充実が必要な市スポーツ施設

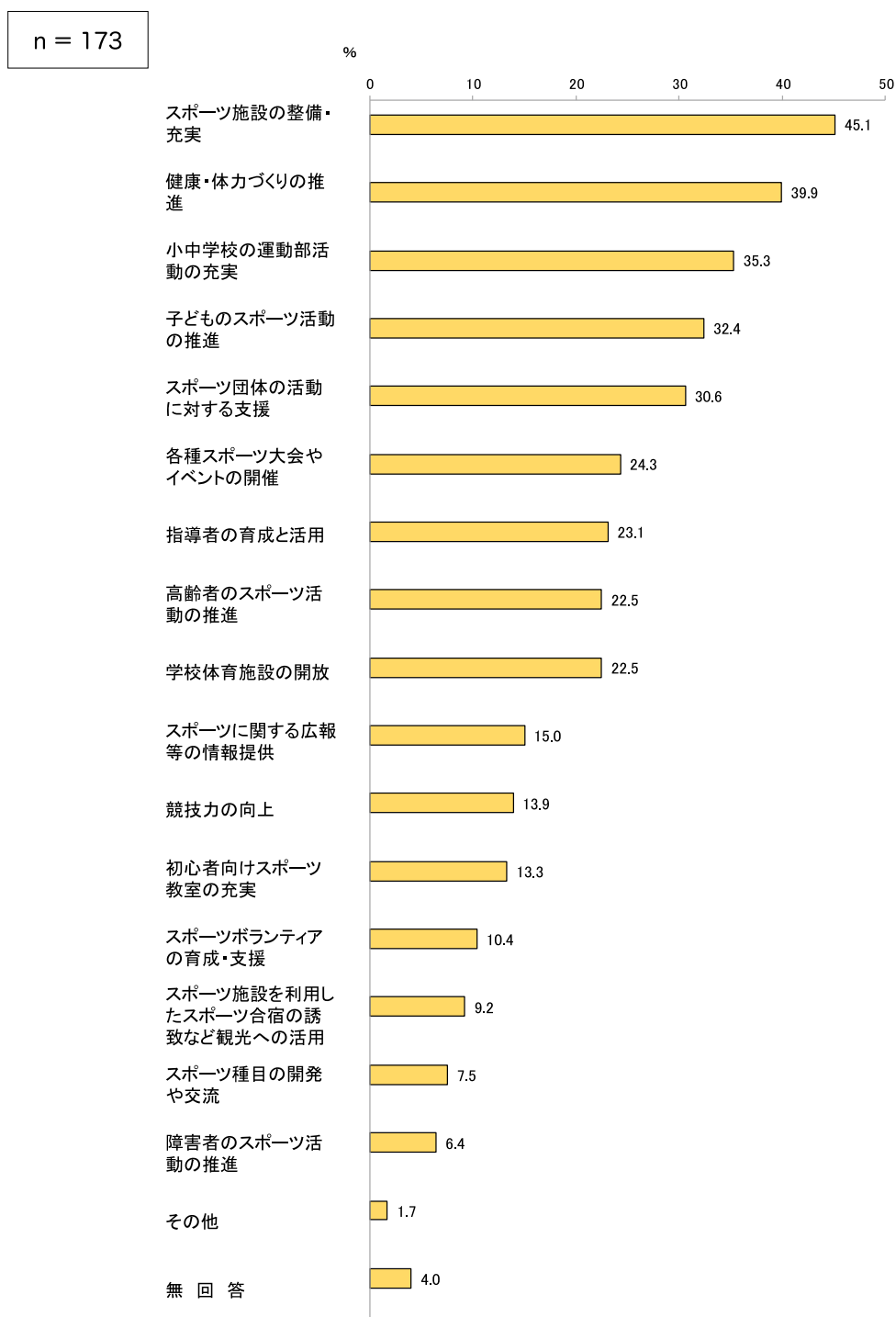
今後整備・充実が必要な市スポーツ施設については、「体育館」が54.9%と最も多く、次いで「専用競技場」が22.0%、「ジョギングコース・ウォーキングコース等」が12.7%、「温水プール」が11.0%、「武道場」が10.4%と続いています。

n = 173



(6) 今後市として取り組むべきこと

今後市として取り組むべきことについては、「スポーツ施設の整備・充実」が45.1%と最も多く、次いで「健康・体力づくりの推進」が39.9%、「小中学校の運動部活動の充実」が35.3%、「子どものスポーツ活動の推進」が32.4%、「スポーツ団体の活動に対する支援」が30.6%と続いています。



3. 調査結果からみえる課題

(1) 市民意識調査

◆ 課題1 施設設備の整備

◆ 課題2 利用料金・利用時間の見直し

市のスポーツ施設の満足度で、「やや不満」、「不満」と回答した人の理由についてみると、多かった項目は、「施設の設備」(26.4%)、「利用料金」(20.8%)、「利用時間帯」(11.1%)となっています。また、市のスポーツ施設に望むことでも、「施設設備の充実」(32.4%)、「利用時間の拡大(夜間等)」(28.8%)、「施設の利用手続き、使用料の支払方法の簡略化」(28.3%)が上位となっています。さらに、今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策については、「スポーツ施設の整備・充実」が27.5%となっています。

自由記述においても、「利用時間を延長してほしい」、「手続きが複雑」、「整備されたコースでジョギングやランニング、サイクリングを思い切り楽しみたい」などの意見もあることから、施設の整備、大会等での適正な利用時間を再度、検討していく必要があります。

◆ 課題3 スポーツイベントの開催

◆ 課題4 プロスポーツ試合、県・全国大会の誘致

今後参加してみたいスポーツイベントについては、「プロスポーツ選手との交流・試合観戦」が35.8%と最も多く、今後の市としての取り組み方については、「プロスポーツの公式試合、各種スポーツ大会や合宿、催し物を開催し、多くの観戦者、参加者に訪れてもらえるような取り組みを進めるべき」が32.4%と最も多くなっています。また、今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策についても、「子どものスポーツ活動の推進」(30.6%)、「高齢者のスポーツ活動の推進」(29.3%)、「各種スポーツ大会やイベントの開催」(18.9%)となっています。

自由記述においても、「国体を開催できる施設があるので、今後も大きな大会を誘致してほしい」、「県・関東・全国大会の開催」、「プロスポーツ選手の試合を観戦したい」、「子どもが参加できるスポーツイベントの開催」などの意見も多くなっています。

今後は、スポーツツーリズムの考え方を視野に、市内外の参加者(スポーツを「する」)や観戦者(スポーツを「みる」)を増加させることで、地域の活性化にもつながることから市内のスポーツイベントやプロスポーツ試合、県・全国レベルの大会の開催を検討していく必要があります。

◆ 課題5 スポーツに関する情報提供の充実

市のスポーツ施設に望むことでは、「施設等の情報提供等」が29.6%と2番目に多くなっています。また、今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策についても、「スポーツに関する広報等の情報提供」が19.4%となっています。

自由記述においても、「各種スポーツ行事に参加できるよう情報を提供してほしい」、「イベントは幅広くPRしてほしい」、「有意義な情報提供をしてもらいたい」、「SNS等でもっと情報を知りたい」、「どのようなことをしているのか知りたい、年間行事がわかるとよい」などの意見も多いことから、スポーツに関するさまざまな情報が市民に届くよう提供方法を検討していく必要があります。

◆ 課題6 スポーツ施設の整備・改修

自由記述において、「新たな温水プールを作ってほしい」、「古い施設は新しくするか、拠点となる大きな施設を作ってほしい」との声が多く挙がっています。

市のスポーツ施設に望むことでは、「施設の増設・配置計画の見直し等」が16.0%となっていることから、市内におけるスポーツ施設のバランスを考慮し、市民だれもが身近でスポーツを楽しむことができるよう再配置を検討していきます。



(2) 団体等意識調査

◆ 課題1 会員数獲得のための方策

各団体の会員数をみると、「10人以下」が22.0%、「11～30人」が54.9%と、会員30人以下の小規模団体が全体の76.9%と4団体中3団体となっています。また、運営上の課題については、「会員の確保」が69.4%と約7割の団体が課題として挙げています。

自由記述においても、「各スポーツ少年団の入団の推進」、「広報でのメンバー募集」、「若年層のメンバー」を求める声なども出ていることから、各団体との連携を密にしながら会員獲得のための方策を検討していく必要があります。

◆ 課題2 各地区の体育館、小・中学校の体育館の整備

各団体の主な活動場所では、「小・中学校の校庭・体育館」が59.5%と最も多く、「市スポーツ施設」(43.4%)よりも多くなっています。また、各団体が活動の拠点として利用している市のスポーツ施設では、「かみす防災アリーナ」に次いで、「神栖市民体育館」(16.2%)、「波崎体育館(弓道場含む)」(15.0%)、「土合体育館」(12.7%)と各地区の体育館を挙げている回答が多くなっています。

今後整備・充実が必要な市スポーツ施設では、「体育館」が54.9%と5割を超え、最も多く、また今後市として取り組むべきことでは、「スポーツ団体の活動に対する支援」が30.6%と5番目に多くなっています。

自由記述において、特に小・中学校の体育館については、「夏季における異常な暑さ」、「床の老朽化」などの安全面の確保などの声も挙がっていることから、団体活動の拠点の中心となっている各地区の体育館や小・中学校の体育館の整備が必要です。

